

水道工事共通仕様書（平成28年10月）の改正について

横須賀市上下水道局の「水道工事共通仕様書（平成22年1月）」を、下記の仕様書及び施工技術書等の内容を取り込んだ「水道工事共通仕様書（平成28年10月）」へ改正します。

記

- ・水道配水用ポリエチレン管施工仕様書（平成22年1月）
- ・施工技術書[管路編]（平成22年10月）
- ・GX形ダクタイル鋳鉄管施工技術書（平成26年8月）

以上

1. 改正内容

(1) 出来形・品質管理を記載

- ① 接合管理
- ② 水圧・水質試験
- ③ 付属設備（仕切弁、消火栓、空気弁等）の設置方法

(2) JIS、JWWA等の規格見直し

共通編主な変更内容

新仕様書 項目	旧仕様書（平成22年1月）	新仕様書（平成28年10月）
共通編第1章 総則 第1節 総則	<p>「1.1.6 施工体制台帳」</p> <p>「1.1.9 現場代理人及び主任技術者等」</p> <p>「1.1.14 条件変更等」</p> <p>「1.1.18 目的別の引渡し及び所有権の移転、部分使用」</p> <p>1.1.19 工事請負代金の請求</p> <p>1.1.20 保証期間</p> <p>以上の項目は別の設計図書と重複のため削除。</p>	<p>「1-1 適用」として次の事項を追記</p> <p>・水道工事共通仕様書及び特記仕様書に定めのない事項は、「<u>神奈川県土木工事共通仕様書</u>」及び「<u>神奈川県土木工事施工管理基準</u>」に準拠する。</p> <p>「1-3 用語の定義」追記。</p> <p>「1-17 発生品」、「1-18 建設発生土の搬出」及び「1-19 建設副産物」を記載。</p>
共通編第1章 総則 第2節 安全管理		<p>・「神奈川県土木工事共通仕様書」に準拠した形で記載。</p> <p>・施工技術書の「8.1 安全管理」を統合。</p> <p>・施工技術書の「8.2 公害対策」の内容と統合再編し「2-8 環境対策」として記載。</p> <p>・施工技術書の「2.2 地元対策」の内容と統合再編し「2-9 地元対策」として記載。</p> <p>・「2-10 文化財の保護」を追記。</p>

共通編第1章 総則 第3節 工所用設備 3 標識等	1.3.3 工事現場標識等 (1) 工事現場には見やすい場所に、 <u>工事件名、工事箇所、期間、事業所名、乙の住所、氏名等を記載した工事標示板、</u> その他所定の標識を設置すること。	「3-3 標識等」 1 工事現場には見やすい場所に、 <u>工事種別、工事期間、施工主体（発注元及びその連絡先）、請負者名及び連絡先等を記載した</u> 工事標示板、その他法律、及び関係法令等で定められているものも掲示すること。 (下図1参照)
共通編第1章 総則 第4節 工事施工	「1.4.3 障害物の取扱い」 新 「第2節2-3 事故防止」へ 「1.4.4 現場付近居住者への説明」 新 「第2節2-9 地元対策」へ 「1.4.5 公害防止」 新 「第2節2-8 環境対策」へ 「1.4.6 道路の保守」 新 「第2節2-3 事故防止」へ 「1.4.18 工事記録写真」 「1.4.19 工事しゅん工図」 「1.4.20 工事関係書類の整理」は 新 「第3章成果品」へ	「4-2 監督員による確認及び立会等」 を追記。
共通編第2章 材料	「2.2 支給材料及び貸与品」及び 「2.3 発生品」 新 「第1章第1節総則」として記載。	「第2節 材料品目」については「神奈川県土木工事共通仕様書」に記載のある材料品目は「神奈川県土木工事共通仕様書」に準拠する。 ・2-8 瀝青材料 品質試験におけるアスファルト混合物事前審査制度について記載。 ・規格の見直し ・水道配水用ポリエチレン管 PTC規格の追加。
共通編第3章 成果品	「3. 測量成果品」、「4. 地質調査成果品」及び「5. 電気・設備成果品」は特記仕様書対応とするため削除。 旧仕様書の特記仕様書は全て削除。	

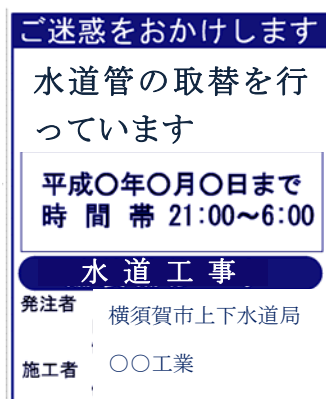
管路工事編の主な変更内容

新仕様書 項目	旧 施工技術書（平成22年10月）	新 仕様書（平成28年10月）
管路工事編第1章 土木共通工事	I 一般事項 「3. 施工一般」、「4. 型枠工及び支保」、「5. 鉄筋工」及び「6. 工事土工」は、 新 「第1章 土木共通工事」へ	「神奈川県土木工事共通仕様書」の記載事項は「神奈川県土木工事共通仕様書」に準拠する。
管路工事編第2章 管工事 第1節 施工一般		旧「施工技術書」の一般事項を記載。

管路工事編第2章 管工事 第2節 管工事施工	II管布設工事編 「1.1.3 掘削工」、「1.1.4 土留工」、 「1.1.5 覆工」及び「1.1.18 埋戻工」は、 新「第1章 土木共通工事」へ 「1.1.16 離脱防止金具取付工」は削除。	「2-8 鋼管溶接・塗覆装」に内面塗装の仕様を追記。
管路工事編第2章 管工事 第3節 品質管理		旧施工技術書の接合管理、水圧試験、水質試験等を記載。
付編I（接合要領）		旧施工技術書の接合要領のうち、ダクタイル鋳鉄管（K形、GX形、NS形）、ポリエチレン管、鋼管・ステンレス鋼管及びフランジ接合の要領を記載。
付編II（接合管理表）		付編Iの管種について接合管理表を記載。
付編III（参考書式）		主たる提出書類の参考書式を記載。
別冊		「しゅん工図作成方法」、「工事写真整理マニュアル」及び「管路工事しゅん工図書提出物一覧表」を記載。

注）施工技術書は施工技術書[管路編]（平成22年10月）をいう。

図1 工事現場標識等参考図



看板記載内容

- ①あいさつ文（工事への理解を求める挨拶文）
- ②工事目的
例）水道管の取替を行っています
- ③工期期間（工事終了日）
時間帯（工事時間帯）
- ④工事種別（水道工事等）
- ⑤施工主体及び連絡先
- ⑥施工業者及び連絡先

別冊工事写真整理マニュアルの改正について

横須賀市上下水道局の施工技術書[管路編]平成27年4月の工事写真整理マニュアルを下記のとおり水道工事共通仕様書の「(別冊)工事写真整理マニュアル」として改正します。

1. 工事写真整理マニュアル(平成27年4月)の改正

(1) 主たる改正内容

- ① 水道工事共通仕様書(別冊)工事写真整理マニュアル(平成28年10月)の主な変更内容
- ・「撮影方法及び提出書類」の黒板記載事項に技能者及び有資格者を記入していたものについて、黒板には記入しなくも可とし、撮影時に有資格者が確認できるように撮影することに変更。

(2) その他の変更

- ・工事写真整理マニュアル(平成28年10月)の主な変更内容

その他の変更点

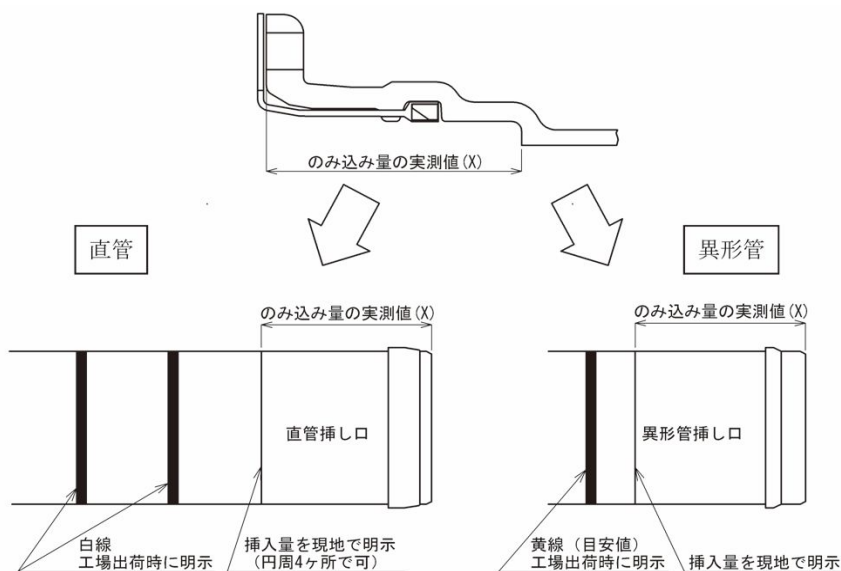
項目	旧(平成27年4月)	新(平成28年10月)	改正の趣旨
品質管理			
接合管理 (1) 鋳鉄管接合 (受口型)	・黒板にポイント番号、接合口番号、呑込み量記入し、有資格者の顔が確認できるように撮影する。	・黒板にポイント番号、接合口番号、 <u>挿入量及びゴム輪位置</u> 記入し、有資格者の顔が確認できるように撮影する。 <u>(呑込み量：GX、NSは挿入量明示線)</u>	撮影する箇所の明確化。 参照：資料1
	・トルク管理が必要な接合は、黒板にポイント番号、接合口番号、締付トルクを記入し、有資格者の顔が確認できるように撮影する	・トルク管理が必要な接合は、黒板にポイント番号、接合口番号、締付トルクを記入し、有資格者の顔が確認できるように撮影する <u>(GXは隙間管理)</u>	
フランジ接合	①フランジ間隔測定 ②トルク測定	①フランジ間隔測定 <u>(GF形2号)</u> ②トルク測定 <u>(RF形、GF形1号)</u> <u>下線部を追記。</u>	フランジ形式により管理方法が異なるため明確化した。
X線検査 (浸透探傷検査)	項目の名称に脱字	X線検査 (<u>浸透探傷検査等</u>) <u>下線部を追記。</u>	X線、浸透の他超音波探傷試験もあるため
給水管接続替工	①削完了	① <u>掘削</u> 完了 <u>下線部を追記。</u>	
メーター移設 ①メーター移設状況	・②メーター設置 <u>状況</u> 写真と合わせて確認できれば1枚でよい。	・②メーター設置 <u>方向</u> 写真と合わせて確認できれば1枚でよい。 <u>下線部を訂正。</u>	メーター取付け方向の確認
分水栓閉止	・黒板に閉止家屋、分水栓の	・黒板に閉止家屋、分水栓の口	閉止板が入っているかの確認

	口径を記入し、分水栓の下に防食フィルムが敷かれている状態が判るように分水栓閉止箇所を撮影する。	径を記入し、分水栓の下に防食フィルムが敷かれている状態及び閉止板が判るように分水栓閉止箇所を撮影する。 <u>下線部を追記。</u>	
--	---	---	--

例(GX形)

1. 挿入量測定写真のイメージ

- ・ 異形管へ挿入するときの挿入量の明示方法与写真の撮り方



直管



異形管

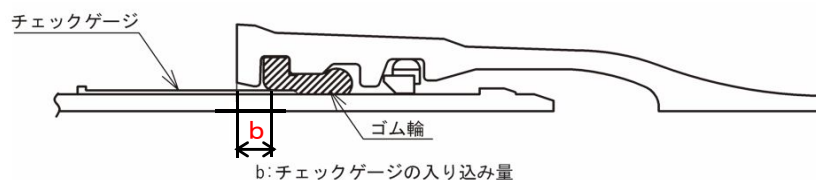


挿入量明示線
(全周に入れる)

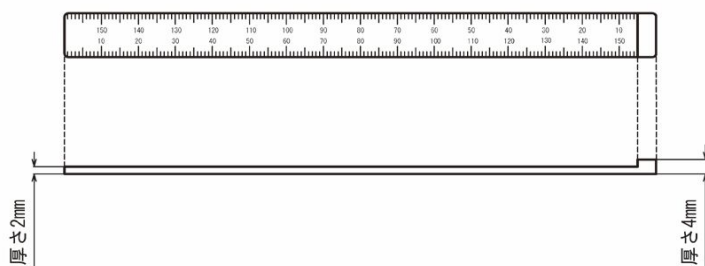
※ 直管ライナ使用時についても上記異形管の要領と同じように挿入量を実測し、挿し口に明示する

2. ゴム輪の位置測定写真のイメージ

- ・ ゴム輪位置測定方法与合格範囲



<チェックゲージ>



【呼び径75～250(2mm、4mm共通)】

呼び径	合格範囲(mm)
75	8～18
100	8～18
150	11～21
200	11～21
250	11～21

【呼び径300、400(2mmのみ)】

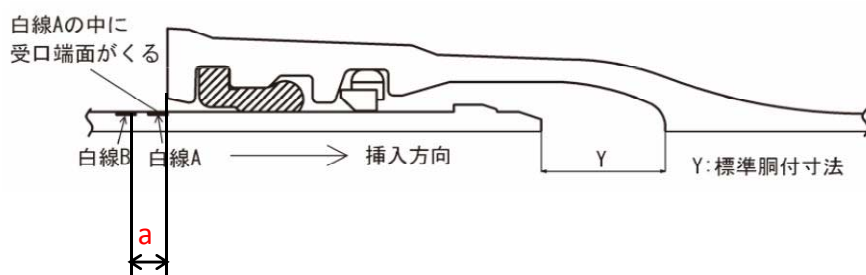
呼び径	合格範囲(mm)
300	14～24
400	14～25

写-1 ゴム輪位置確認写真（ライナ装着受口への挿入）



左はゴム輪位置測定写真
黒板には測点8箇所の測定値
を記入

3. 直管へ挿入するときの挿入量と写真の撮り方

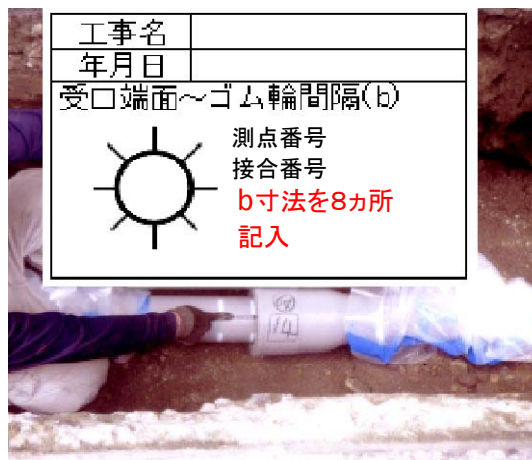


白線Aが受口端面に合っている確認
(黒板にはa寸法を記入すること)

写-2 挿入量測定写真



写-3 ゴム輪位置確認写真



2枚1セット

4. 異形管及びライナ使用直管受口へ挿入するときの呑込み量と写真の撮り方

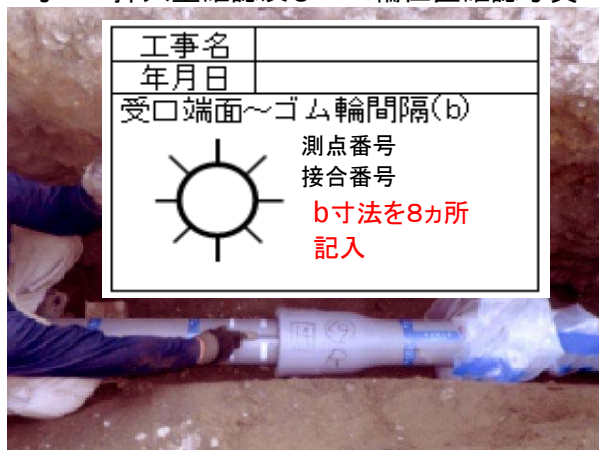
写-4 挿入量明示(マーキング)写真



挿入量
マーキング写真

2枚1セット

写-5 挿入量確認及びゴム輪位置確認写真



マーキングした位置
まで挿入されている
確認とゴム輪位置の
確認を兼ねる写真。